

旅行取扱状況の概観（平成27年8月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比103.9%、学生団体は同108.9%と前年を上回り、団体旅行合計で同107.1%と前年を大きく上回った。企画旅行については同74.8%、個人旅行についても前年比77.6%と前年を下回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比82.8%と前年を下回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比109.4%と大きく上回った。学生団体は同95.7%と前年を下回ったが、団体旅行合計では同101.9%と前年を上回った。企画旅行については同97.6%と前年をやや下回り、個人旅行については同112.7%と前年を大きく上回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、100.2%と前年を上回った。

外国人旅行は、前年比147.4%と前年を大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の8月の総取扱額は前年比95.2%となり、前年を下回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は大型の招待旅行やSITの取扱いにより前年比105.7%、学生団体は、大型の語学研修の取扱いにより同108.9%と前年を大きく上回った。この結果、海外団体旅行合計では同107.7%と前年を大きく上回った。

国内団体については、一般団体は複数の企業系コンベンションの取扱いにより前年比109.0%と大きく上回った。学生団体は取扱い団体数の減少により前年比95.6%と下回ったが、国内団体旅行合計では前年比101.7%と上回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、取扱額で前年比97.3%と前年を下回った。方面別取扱人数の状況では、全般的に低調であったが、引き続き、北陸、関西、南紀、中国四国は好調を維持している。

ホリデイは、取扱額で前年比83.1%と前年を下回った。方面別取扱人数の状況では、ミクロネシアが引き続き好調を維持しているが、全方面合計では前年を下回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、シルバーウィークへ販売がシフトしたことや、前年に実施したダイヤモンドプリンセスクルーズチャーターの影響もあり、取扱額で前年比73.2%と前年を下回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は、北海道・北陸方面が好調に推移したものの、夏祭り商品や花火鑑賞商品など夏の定番商品が不振であり同99.6%と前年をやや下回った。

バス旅行部門は、東北の夏祭り商品や長岡の花火鑑賞商品など長距離コースが振るわず、同91.3%と前年を下回った。

テーマ旅行部門は、前年実施のダイヤモンドプリンセスクルーズチャーターの影響やお盆時期の海外ひとり旅が振るわず、同92.1%と前年を下回った。

以上